



平成24年10月号(隔月発行)

札幌司法書士会 会長 林 和宏 編集担当責任者 番井 菊世 <http://www.sihosyosi.or.jp/>

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地 電話 011-281-3505 FAX 011-261-0115

## べてるまつり2012に参加してきました!



札幌司法書士会には、様々なテーマを勉強する「ゼミ」があります。きりばたけ通信の編集メンバーの数名が参加する「社会問題対策ゼミ」の課外学習で、「べてるまつり2012」に参加してきましたので、今月号はその様子をお届けします。

### 「べてるの家」とは?

べてるの家は、1984年に設立された、北海道浦河町にある、精神障害等をかかえた当事者の地域活動拠点です。社会福祉法人浦河べてるの家、有限会社福祉ショップべてるなどの活動があり、総体として「べてる」と呼ばれています。生活共同体、働く場としての共同体、ケアの共同体という3つの性格を持っていて、100名以上の当事者が地域で暮らしています。(べてるねっと.jp「べてるの家とは」より)

べてるまつりはべてるの家関係会社の総会として始まったそうですが、「幻覚&妄想大会」はじめ楽しい企画がたくさんあり、年に1度の文化祭のような雰囲気でした。

国内外から高い注目を集めているべてるまつり、20回目を迎える今年のテーマは「ホップ・ステップ・だうん!」でした。

### 8月25日 べてるまつり1日目

午前中には、第一部:特別ゲスト武田鉄矢さんを交えたトークイベントが開かれていたのですが、残念ながら参加することが出来ませんでした。

武田鉄矢さんはべてるの家を映画化した『降りてゆく生き方』に主演されています。

### ○ カフェぶらぶらでお茶を飲む ○

第二部開始まで時間があつたので、べてるが営業している「カフェぶらぶら」によってみました。

お店に着くまでの数分間、町にはべてるまつりの参加者しかいないのではないかと、というくらい、まつりの参加者証をつけた人でいっぱいでした。

「カフェぶらぶら」には、ショップが併設されており、べてるの家の取り組みの関係書籍や、地場産業の商品の販売が行われています。

当然カフェはものすごく混み合っていて、飲物を注文するのも一苦労でしたが、コーヒーを飲み、長い列に並んで浦河の名産物である昆布のお土産や関係書籍を買くと、お祭り気分が盛り上がってきました。

### ○ べてるまつり第二部:爆笑の舞台 in 浦河町総合文化会館 ○

#### べてるの家の1年の報告

第二部は、べてるの家の活動報告から始まりました。この報告は、仕事の担当チームごとに、歌で仕事の苦楽を表現するというミュージカル形式で行われました。

「何回も確認して、間違いなく発送できた(昆布の通販チーム)」、「こんなに立派なズッキーニが出来た(農作業チーム)」、「仲間とけんかした」とみなさん楽しそうに、時にはダンスも交えて歌っていました。

ほとんどの歌がべてるメンバー作詞作曲のオリジナル曲で、ちょっと短調の悲しげなメロディが笑いを誘いました。きれいごとだけではない、シニカルなものや、自虐的なもの、沈み込むようなもの、様々なものをストレートに表現され、圧倒されました。

## 幻想&妄想大会

べてるメンバーの中から、今年の幻想&妄想の優勝者を発表する大会です。障害の症状ともいえる幻覚や幻聴の内容で大会をするという逆転の発想です。

今年の優勝者は「殺生はよろしくないと、焼鳥屋の赤提灯を壊してまわる、天使が好きな」若い女性でした。優勝者の方は壇上で歌い、武田鉄矢さんと掛け合い漫才のような会話をして会場を沸かせました。

過去の受賞者の幻想&妄想も発表され、それもととも興味深かったのですが、今年の優勝者さんのユニークさには、かなわない気がしました。

想像を遙かに超えた、大爆笑の大会でした。



参加した社会問題対策ゼミ員 手にしているパックマンのようなものは「幻聴さん」。自分で自分の症状を研究する当事者研究で、聞こえてくる幻聴を形にして、他の人に買ってもらって減らしていこうという発想から生まれたそうです。

8月26日 べてるまつり2日目

○ べてるまつり第三部：浦河町乗馬公園で乗馬体験 ○

2日目は Thanks Horse Days という馬のイベントとコラボで、トークショーや乗馬体験が行われました。ゼミ員ほとんど乗馬初経験です。(癒されました！)

この2日間は、参加者みなこれまで感じたことのないような様々な衝撃を受けました。福祉・医療・行政関係など様々な職業の人が参加していたようです。

司法書士という仕事の枠を超えて、この経験は私たちに色々なものを残しました。



5分程度のお散歩でしたが、とても楽しかったです。

## ● 緊急告知 ●

### 被害者交流集会が開催されます！

平成24年10月27日(土)・28日(日)、「第32回全国クレジット・サラ金・ヤミ金被害者交流集会 in 北海道」が開催されます。昭和56年、「サラ金地獄」に対抗すべく、各地の「サラ金被害者の会」が集まって開催されてから、毎年全国規模で行われているもので、今年は札幌市での開催となります(札幌司法書士会も後援しています)。

27日には、20の分科会が開催されます(子どもの貧困、石川啄木と貧困、震災、保証人問題、生活保護、非正規労働、ギャンブル依存症、武富士問題、上限金利、自死対策、ホームレス問題、奨学金問題、インターネット消費者取引被害…など)。

28日の全体会は、水島宏明氏による講演です(見えにくくなる貧困～報道する内と外から見た課題)

ぜひ、ご参加下さい！！

※ 一部の分科会をのぞき、有料・事前申込が必要です。

詳しくはこちら↓

<http://cresara2012hokkaido.web.fc2.com/>



## 参加者の感想

今回べてるまつりに参加して、私は一つ安心することが出来ました。

統合失調症はおよそ100人に1人が発症する病気であるときいたことがあります。とすれば、いつ、自分自身や家族が患者になってもおかしくありません。不安や恐れ、偏見は無知からはじまるともいいます。

もし、自分や家族が統合失調症になったときには、べてるの家に来れば病気とつきあいながら楽しく暮らせるかもしれない、と安心することが出来ました。それだけでも参加してよかったと思いました。

## 編集後記

私ごとですが風邪をひいてしまいました。徐々にマスクをすると、すっぴんの罪悪感がなくなり、社会に対して妙に「楽」な感じがします。欧米ではマスクをしていると表情がよめないと、マスクに口を描いたりするという話をきいたことがあります。日本人のシャイな国民性はマスクを好むとも。しかし、はじめて会う人にあいさつするときにマスクはさすがに失礼と思いはずすのですが、グホゲホ咳をまき散らかすのもさらに失礼と、挨拶が終わったら「マスクしていいですか？」と断って着用したりしています。このビジネスマスクマナーは正しいのでしょうか？(K. T)